

資料提供

月 日	担当館名	電話	担当者
1月21日	県立近代美術館	tel 088-668-1088 fax 088-668-7198	学芸員 仲田、吉川、吉原

所蔵作品展「徳島のコレクション 2009- いっぱい見せます:全館展示」の開催について

1. 主旨

この展覧会は、徳島県立近代美術館の所蔵作品をご紹介します。
所蔵作品展は、当館のコレクションの方針によって、「20世紀の人間像」「徳島ゆかりの美術」「現代版画」の3つのコーナーに分かれています。前期(3月1日まで)と後期(3月3日から)で、「現代版画」のコーナー他、一部展示替えを行います。
今回は展示室3も含めた全館展示で多くの作品をご覧ください。

2. 会期 2009年1月24日(土)-4月12日(日)

3. 会場 徳島県立近代美術館
[展示室1、展示室2、展示室3、美術館ロビー、屋外展示場、彫刻の小径]

4. 観覧時間 午前9時30分 - 午後5時

5. 休館日 月曜日

6. 観覧料 一般 :200円(160円)
高・大生:100円(80円)
小・中生:50円(40円)
*()内は20名以上の団体料金
*高齢者[65歳以上]、障害者割引があります[半額]
*祝日及び振替休日は無料です。
*小・中・高生は土・日・祝・振替休日、春・夏・秋・冬休み中の観覧料が無料になります。

7. 関連事業 【学芸員による展示解説】
1月25日(日)、2月1日(日)、2月8日(日)、
2月22日(日)、3月15日(日)、3月29日(日)
午後2時 - 2時45分 *観覧券が必要です。
【美術を楽しむ・わたくし流】
3月1日(日) 午後2時 - 3時30分 / 展示室3(2階)
ピアノ・コンサート「いのちを見つめて」重松壮一郎(ピアニスト・作曲家)
*観覧券が必要です

3月20日(金・祝) 午後2時-3時/展示室3(2階)

能楽「生きているわたくし」によせて

橋本ハル子(観世流能楽師) 吉浪壽晃(観世流能楽師)、児玉哲城
(観世流能楽師)

8. 出品内容

当館の収集方針にあわせて、3つのコーナーで展示します。

【20世紀の人間像】 展示室1

今回は「抽象」に注目したコーナーをもうけました。20世紀の初頭に登場した抽象絵画は前世紀を通じて重要な位置を占めてきました。パウル・クレーの<子供と伯母>やフェルナン・レジェの<美しい自転車乗り>、菅井汲の<男と男>などを紹介します。

全26点(3月2日をはさんで一部展示替えを行います。)

【現代版画】 展示室1

棟方志功、ベン・シャーンの版画集

1月24日[土]-3月1日[日]

棟方志功の版画集 耶蘇十二使徒板画柵(不来方頌、大恩世主十二使徒板画鏡柵) 全12点とベン・シャーンの版画集 リルケ『マルテの手記』より:一行の詩のためには… 全24点を紹介します。

マルク・シャガールの版画集

3月3日[火]-4月12日[日]

マルク・シャガールの版画集 ダフニスとクロエ 全42点を紹介します。

【徳島ゆかりの美術】 展示室2

このコーナーでは、徳島県出身や徳島ゆかりの作家の作品のほか、徳島の風景や風物に題材をとった作品を紹介します。今回は、徳島県出身の、三宅克己の水彩画、広島晃甫や日下八光の日本画、伊原宇三郎の油彩画などを展示します。また徳島の風景や風物を描いた作品として、祖谷の渓谷を描いた下保昭の 峡 や、川島猛の 阿波おどり などをご紹介します。

全24点(3月2日をはさんで一部展示替えを行います。)

【特集:生きているわたくし】 展示室3

「いのちのはじまり」、「はじまりの近くで」、「かけがえのない『わたくし』を探して」、「生きづらさの中で」の4つのコーナーを設けて、旅に例えられる私たちのいのちの時間をその始まりから精神的な充実まで、作品を通して辿ってみます。

全102点(3月2日をはさんで一部展示替えを行います。)

このほかに、美術館ロビー/屋外展示場/彫刻の小径、に13点を展示

全243点